AIST IDEA
Inventory Database for Environmental Analysis

「AIST-IDEA」ロゴは、国立研究開発法人産業技術総合研究所（AIST）の登録商標です。

AIST SOLUTIONS
産総研グループ

Scope3算定ツール

AIST-IDEA Ver.3.5用

～マニュアル～

本Scope3算定ツールはAIST-IDEAのライセンスをお持ちの方のためのソフトです。
AIST-IDEA Web systemと併用してお使いいただくと便利です。

本Scope3算定ツールは株式会社AIST Solutionsが国立研究開発法人産業技術総合研究所からライセンス提供を受けて開発し提供するものです。

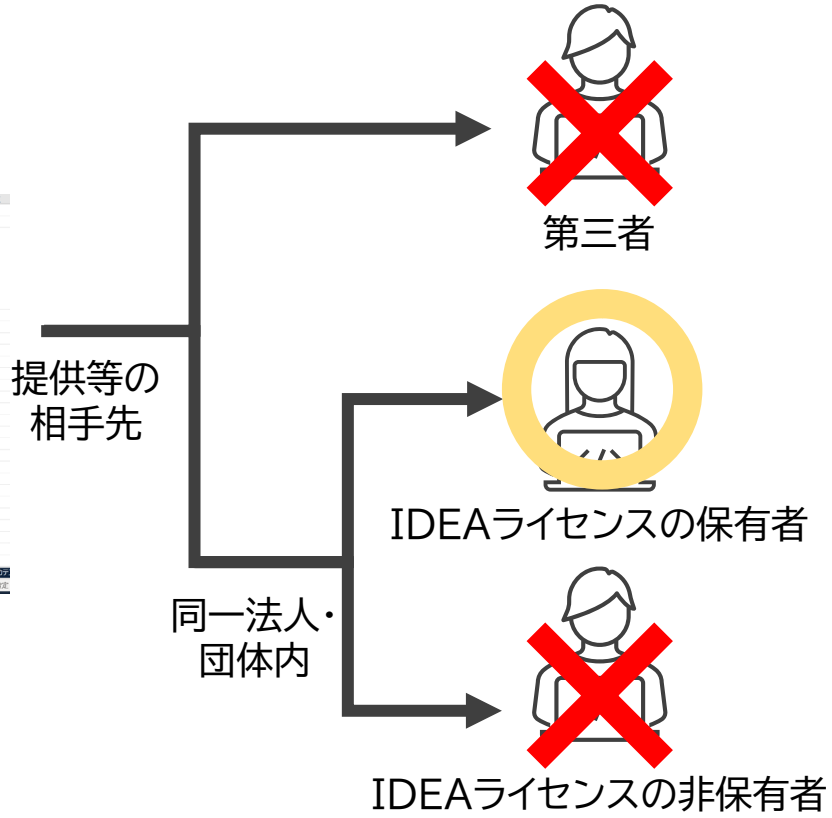
本Scope3算定ツールについてのお問い合わせはAIST Solutionsまでお願いします。

利用上の注意

本Scope3算定ツールの第三者への提供はご遠慮ください。

社内であっても、ライセンスを保有する者以外への提供および使用は禁止です。ライセンス範囲内でのご使用をお願いします。

IDEA Ver.3.5の掲載された
Scope3算定ツール



免責事項

本Scope3算定ツールおよびIDEAを使用して作成した一切の情報については、その正確性・妥当性および使用者が意図する特定の利用目的に適合していることを保証するものではありません。

本Scope3算定ツールは、GHGプロトコルや環境省ガイドラインのScope3算定方法のすべてに対応しているものではないため、詳細な算定を目指すユーザーの利用目的に適合していない場合がありますのでご了承ください。

本Scope3算定ツールおよびIDEAを使用することで生じた発信者および使用者の直接又は間接の損害については、使用者がその一切の責任を負うものとし、国立研究開発法人 産業技術総合研究所および株式会社AIST Solutionsはいかなる責任も負いません。また、国立研究開発法人 産業技術総合研究所および株式会社AIST Solutionsは、本Scope3算定ツールおよびIDEAに関していかなる保証も行いません。本Scope3算定ツールおよびIDEAに関し発生する問題は、使用者の皆様の責任および費用負担をもって処理されるものとします。

各シートの内容について

分類	シート名	概要
目次	本ツールについて・目次	本算定ツールについてと目次
レポート	集計結果	各カテゴリの排出量の一覧・円グラフを表示
	算出方法	各カテゴリの算出方法を記入
カテゴリシート	Cat.1 ～ Cat.15	各カテゴリの排出量を計算
バックデータ	IDEA Ver.3.5	「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」の【LCIA結果_GWP】シートからGHG排出量の値を貼り付けるためのシート
	換算係数表	IDEAに格納されている製品に対する換算係数一覧
	Cat.2用 Cat.6.7用 Cat.6用 Cat.7用 Cat.11用	対象のシートで使用するAIST-IDEA以外の排出原単位

*本マニュアルでは「AIST-IDEA(National Institute of Advanced Industrial Science and Technology - Inventory Database for Environmental Analysis)」を「IDEA」と略記しています。

表のテーブル化について

本ツールの表は全てExcelのテーブル化機能によりテーブルに変換されています。
テーブル化することによって、効率的にデータを管理・運用しています。

テーブル化のメリット

- <u>関数がわかりやすい</u>

  関数がセル名ではなく表の項目名（ラベル）で表示されるため、関数の中身が理解しやすい。

  例）通常の式　　＝A1*B1

  テーブル化された式　＝[@個数]*[@単価]

- <u>関数の入れ忘れを防げる</u>

  行を挿入すると自動で同じ列の関数が入力されるため、関数のコピーをする必要がない。

テーブル使用時の注意点

❖ **行を追加したい場合**

挿入したい箇所でマウスを右クリックし、「挿入」→「テーブルの行」をクリックする。

❖ **セルの関数を消してしまった場合**

1. 行を右クリック「選択」→「テーブルの行」をクリックする。
2. 右クリック「削除」→「テーブルの行」をクリックする。

⇒選択した行が削除される。（関数の抜け漏れを防げる）

計算手順

Scope3算定ツール使用前の準備

【IDEA Ver.3.5】シートに
「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」の
【LCIA結果】シートのGHGの値を貼り付ける

Step.1

各カテゴリのシートに情報を入力する

Step.2

結果を確認する

Scope3算定ツール
使用前の準備

1.「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」の【LCIA結果_GWP】シートからGHG排出量の列（G列～R列のいずれか）をコピー（列の選択については次ページ以降で説明）

このAIST-IDEA Ver.3.5.1 標準版 製品は以下のユーザーにライセンスされています。

[redacted]

AIST-IDEAは、日本国内外の著作権およびその他知的財産権に関する諸法令および諸条約によって保護されています。 以下のような行為は著作権および知的財産権の侵害にあたりますので、ご注意ください。
-公表を含め、当データベースの一部もしくは全部を複製して第三者に提供すること。
-AIST-IDEAの複製、コピー、解読、再配布、変更、出版、脆弱性の攻撃を行うこと。

					区分	IPCC 2021 without LULUCF AR6		IPCC 2013 without LULUCF AR5		IPCC 2007 without LULUCF AR4	
					影響評価	気候変動 IPCC 2021 GWP 100a without LULUCF	気候変動 IPCC 2021 GWP 20a without LULUCF	気候変動 IPCC 2013 GWP 100a without LULUCF	気候変動 IPCC 2013 GWP 20a without LULUCF	気候変動 IPCC 2007 GWP 100a without LULUCF	気候変動 IPCC 2007 GWP 20a without LULUCF
IDEA製品コード	IDEA製品名	国	DB区分	基準フロー	単位	kg-CO2eq	kg-CO2eq	kg-CO2eq	kg-CO2eq	kg-CO2eq	kg-CO2eq
011100000mGLO	玄米, 4桁, GLO	GLO	GLO	1	kg						
011100000mJPN	玄米, 4桁, JPN	JP	CORE	1	kg						
011111000pGLO	玄米, GLO	GLO	GLO	1	kg						
011111000pJPN	玄米, JPN	JP	CORE	1	kg						
011200000mGLO	麦類, 4桁, GLO	GLO	GLO	1	kg						
011200000mJPN	麦類, 4桁, JPN	JP	CORE	1	kg						
011211000pGLO	小麦, GLO	GLO	GLO	1	kg						
011211000pJPN	小麦, JPN	JP	CORE	1	kg						
011212000pGLO	裸麦, GLO	GLO	GLO	1	kg						
011212000pJPN	裸麦, JPN	JP	CORE	1	kg						
011213000pGLO	六条大麦, GLO	GLO	GLO	1	kg						
011213000pJPN	六条大麦, JPN	JP	CORE	1	kg						
011214000pGLO	ビール麦, GLO	GLO	GLO	1	kg						
011214000pJPN	ビール麦, JPN	JP	CORE	1	kg						

2. Scope3算定ツールの【IDEA Ver.3.5】シートのG列に貼り付け

コピー・貼り付け

IDEAは、日本国内外の著作権およびその他知的財産権に関する諸法令および諸条約によって保護されています。以下のような行為は著作権および知的財産権の侵害にあたりますので、ご注意ください。
-公表を含め、当データベースの一部もしくは全部を複製して第三者に提供すること。
-IDEAの複製、コピー、解読、再配布、変更、出版、脆弱性の攻撃を行うこと。

					影響評価	気候変動 IPCC 2021 GWP 100a without LULUCF
IDEA製品コード	IDEA製品名	国	DB区分	基準フロー	単位	kg-CO2eq
11100000mGLO	玄米, 4桁, GLO	GLO	GLO	1	kg	
11100000mJPN	玄米, 4桁, JPN	JP	CORE	1	kg	
11111000pGLO	玄米, GLO	GLO	GLO	1	kg	
11111000pJPN	玄米, JPN	JP	CORE	1	kg	
11200000mGLO	麦類, 4桁, GLO	GLO	GLO	1	kg	
11200000mJPN	麦類, 4桁, JPN	JP	CORE	1	kg	
11211000pGLO	小麦, GLO	GLO	GLO	1	kg	
11211000pJPN	小麦, JPN	JP	CORE	1	kg	
11212000pGLO	裸麦, GLO	GLO	GLO	1	kg	
11212000pJPN	裸麦, JPN	JP	CORE	1	kg	
11213000pGLO	六条大麦, GLO	GLO	GLO	1	kg	

「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」【LCIA結果_GWP】シートのイメージ

GHGプロトコルのScope3 Calculation Guidanceまたは環境省の基本ガイドラインを適用しScope3を算定するには【LCIA結果_GWP】シートのIPCC without LULUCFの列を使用できます。

without LULUCF
土地利用/土地利用変化を含まない

with LULUCF
土地利用/土地利用変化を含む

このAIST-IDEA Ver.3.5.1 標準版 製品は以下のユーザーにライセンスされています。

AIST-IDEAは、日本国内外の著作権およびその他知的財産権に関する諸法令および諸条約によって保護されています。以下のような行為は著作権および知的財産権の侵害にあたりますので、ご注意ください。
-公表を含め、当データベースの一部もしくは全部を複製して第三者に提供すること。
-AIST-IDEAの複製、コピー、解読、再配布、変更、出版、脆弱性の攻撃を行うこと。

			区分	IPCC 2021 without LULUCF AR6		IPCC 2013 without LULUCF AR5		IPCC 2007 without LULUCF AR4		IPCC 2021 with LULUCF AR6		IPCC 2013 with LULUCF AR5		IPCC 2007 with LULUCF AR4	
			影響評価	気候変動 IPCC 2021 GWP 100a without LULUCF	気候変動 IPCC 2021 GWP 20a without LULUCF	気候変動 IPCC 2013 GWP 100a without LULUCF	気候変動 IPCC 2013 GWP 20a without LULUCF	気候変動 IPCC 2007 GWP 100a without LULUCF	気候変動 IPCC 2007 GWP 20a without LULUCF	気候変動 IPCC 2021 GWP 100a with LULUCF	気候変動 IPCC 2021 GWP 20a with LULUCF	気候変動 IPCC 2013 GWP 100a with LULUCF	気候変動 IPCC 2013 GWP 20a with LULUCF	気候変動 IPCC 2007 GWP 100a with LULUCF	気候変動 IPCC 2007 GWP 20a with LULUCF
IDEA製品コード	IDEA製品名	国	DB区	基準フロ	単位	kg-CO2-eq	kg-CO2-eq	kg-CO2-eq	kg-CO2-eq	kg-CO2-eq	kg-CO2-eq	kg-CO2-eq	kg-CO2-eq	kg-CO2-eq	kg-CO2-eq
011100000mGLO	玄米, 4桁, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011100000mJPN	玄米, 4桁, JPN	JP	CORE	1	kg										
011111000pGLO	玄米, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011111000pJPN	玄米, JPN	JP	CORE	1	kg										
011200000mGLO	麦類, 4桁, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011200000mJPN	麦類, 4桁, JPN	JP	CORE	1	kg										
011211000pGLO	小麦, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011211000pJPN	小麦, JPN	JP	CORE	1	kg										
011212000pGLO	裸麦, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011212000pJPN	裸麦, JPN	JP	CORE	1	kg										
011213000pGLO	六条大麦, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011213000pJPN	六条大麦, JPN	JP	CORE	1	kg										
011214000pGLO	ビール麦, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011214000pJPN	ビール麦, JPN	JP	CORE	1	kg										
011219000pGLO	その他の麦類, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011219000pJPN	その他の麦類, JPN	JP	CORE	1	kg										
011300000mGLO	豆類, 4桁, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011300000mJPN	豆類, 4桁, JPN	JP	CORE	1	kg										
011311000pGLO	大豆, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011311000pJPN	大豆, JPN	JP	CORE	1	kg										
011312000pGLO	小豆, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011312000pJPN	小豆, JPN	JP	CORE	1	kg										
011313000pGLO	いんげん, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011313000pJPN	いんげん, JPN	JP	CORE	1	kg										
011314000pGLO	らっかせい, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011314000pJPN	らっかせい, JPN	JP	CORE	1	kg										
011319000pGLO	その他の豆類, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011319000pJPN	その他の豆類, JPN	JP	CORE	1	kg										
011400000mGLO	雑穀, 4桁, GLO	GLO	GLO	1	kg										
011400000mJPN	雑穀, 4桁, JPN	JP	CORE	1	kg										
011411000mGLO	子実用とうもろこし, GLO	GLO	CORE	1	kg										
011411000pBRA	子実用とうもろこし, BRA	BR	CORE	1	kg										
011411000pUSA	子実用とうもろこし, USA	US	CORE	1	kg										
011419000pGLO	その他の雑穀, GLO	GLO	GLO	1	kg										

バージョン情報 | 利用方法 | LCIデータ | LCIA結果_GWP | LCIA結果_ISO_EN | LCIA結果_LIME2 | LCIA結果_LIME3 | LCIA結果_EF31 | LCIA係数_GWP | LCIA係数_ISO_EN | LCIA係数_LIME2 | LCIA…

【LCIA係数_GWP】シートでは、【LCIA結果_GWP】シートが算定対象としている温室効果ガス(基本フロー)およびLCIA係数を確認できます。

「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」【LCIA結果_GWP】シート GHG排出量の列名の説明

それぞれの列名における算定対象に以下の違いがあります

列名”**気候変動 IPCC 2021 GWP 100a without LULUCF**”

①報告書年　②算定年数　③土地利用/土地利用変化の考慮の有無

① 報告書年（IPCC 2021/2013/2007）
IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の報告年を表します：
第6次報告書（2021年）、第5次報告書（2013年）、第4次報告書（2007年）

② 算定年数（GWP 100a/20a）
地球温暖化への影響を何年分考慮するかを表します：
100a（100年係数）、20a（20年係数）

③ 土地利用/土地利用変化の考慮の有無（without/with LULUCF）
土地利用/土地利用変化（LULUCF）を算定対象に含めるか否かを表します：
（詳細は次ページで説明）

- LULUCFはLand Use, Land-Use Change and Forestryの略称
- GHGプロトコル Scope3 Calculation GuidanceではGWP 100年係数の使用を推奨しており、また環境省D.B. Ver.3.5でもAR4 100年係数が使用されています。

LULUCFを含む/含まない
GHG排出量の選択方法

ユーザーが適用するScope3の算定ガイドラインまたは報告書の提出先が要求する算定方法に従って、LULUCFを含む/含まないを選択します。

Scope3算定ガイドラインの例

環境省 サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する 基本ガイドライン（ver.2.7）（2025）：

Scope1、2の算定対象範囲は、事業者単独で見た場合には「温室効果ガス排出量　算定・報告・公表制度（SHK制度）」と同様の算定範囲とされています（本ガイドラインにおけるサプライチェーン排出量の算定の場合には、連結対象事業者も自社の算定対象範囲に含まれます）。
SHK制度では土地利用/土地利用変化によるGHG排出・吸収量は算定・報告対象外です。
ただし、排出活動については、SHK制度の算定対象範囲以外のものも存在するため、サプライチェーン排出量（Scope1、2、3排出量）においては、それらも任意に算定できるとされています。

そのため、以下どちらの列でも使用が可能です。
【LCIA結果_GWP】シートのIPCC without LULUCFの列
【LCIA結果_GWP】シートのIPCC with LULUCFの列

出典：環境省（2025） サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する 基本ガイドライン（ver.2.7），第2部 算定方法の解説，1.1.1算定対象範囲，Ⅱ-1頁
参考：https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/tools/GuideLine_ver.2.7.pdf

本算定ツールで使用する排出原単位

略称	正式名称	使用するカテゴリ	対応する地球温暖化係数（GWP）	排出原単位を用いて算定できるGHGの種類
AIST-IDEA Ver.3.5	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEAラボ 「LCIデータベース AIST-IDEA Ver.3.5_標準版 」	カテゴリ1 カテゴリ3 カテゴリ4 カテゴリ5 カテゴリ8 カテゴリ9 カテゴリ10 カテゴリ11 カテゴリ12 カテゴリ13 カテゴリ14	AR4、AR5、AR6 それぞれ20年、100年係数 （本算定ツールで使用するものを、各自で選択）	CO_2、CH_4、N_2Oなど （詳細は「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」の【LCIA係数_GWP】シートを参照のこと）
環境省 D.B. Ver.3.5	環境省 「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.5）」*	カテゴリ2	AR4　100年係数	CO_2以外のGHGを含む （詳細は環境省D.B.Ver.3.5を参照のこと）
		カテゴリ6 カテゴリ7		CO_2のみ

*参考：https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply chain/gvc/estimate 05.html

➢ カテゴリ15は、排出原単位を使用せず、投資先のScope1,2排出量から算出するため上記表に含まれていません。

GHG排出量のGWP選択方法

どの地球温暖化係数(GWP)を用いたGHG排出量を選択するか、
ユーザーが目的に応じ選択する必要があります。

AR4を選択する場合:

「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」の【LCIA結果_GWP】シートからAR4 100年係数を用いた排出原単位を利用する場合、環境省D.B. Ver.3.5(AR4)を使用するカテゴリを含め、全てのカテゴリでGWPが一致します。

AR5またはAR6を選択する場合:

「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」の【LCIA結果_GWP】シートからAR5またはAR6 100年係数を用いた排出原単位を利用する場合、環境省 D.B. Ver.3.5(AR4)を使用するカテゴリと、IDEAを使用するカテゴリで、GWPが異なります。以下表のように、温室効果ガスのGWPは報告書のバージョンによって異なる点に留意が必要です。

例:GWP 100年係数の違い

温室効果ガス	化学式	AR4 IPCC 2007	AR5 IPCC 2013	AR6 IPCC 2021
二酸化炭素	CO_2	1	1	1
メタン	CH_4	25	28	27.9
一酸化二窒素	N_2O	298	265	273

参考

SHK制度における地球温暖化係数(GWP):

温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度(SHK制度)で使用されるGWPは
令和6年4月1日よりAR4からAR5 100年係数に更新されました。

Scope1、2をSHK制度に準じて算出した場合、
本算定ツールでは、「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」の
【LCIA結果_GWP】シート からAR5 100年係数を用いた排出原単位を利用することで、
Scope3のカテゴリ1、3、4、5、8、9、10～14と、Scope1、2でGWPが統一されます。

参考:環境省 マニュアル・様式 |「温室効果ガス排出量 算定・報告・公表制度」ウェブサイト (env.go.jp)

参考

GHGプロトコルにおける地球温暖化係数（GWP）：

GHGプロトコルの「Scope 3 Calculation Guidance」および
「Corporate Value Chain（Scope3） Standard」では以下のように記載があります。

Scope3 Calculation Guidance（2011）より：

（AISol仮訳）企業は、UNFCCC（気候変動に関する国際枠組み）によって合意されたIPCCのGWP、またはIPCCの発表する最新のGWPを使用することもできる（may）。GWPの値は100年係数を使うことが望ましい（should）。企業はインベントリの計算に使用したGWPの出典を公開する必要がある（required）。

出典：GHG Protocol (2011), Technical Guidance for Calculating Scope3 Emissions (Version 1.0), Introduction, Applicable greenhouse gases and global warming potential values, p.14

参考：Scope 3 Calculation Guidance｜GHG Protocol

Corporate Value Chain（Scope3）Accounting and Reporting Standard（2011）より：

（AISol仮訳）企業は、IPCCが提供する100年係数を使うことが望ましい (should)。企業はUNFCCC（気候変動に関する国際枠組み）によって合意されたIPCCのGWP、またはIPCCの発表する最新のGWPを使用することもできる（may）。企業は、Scope1、2、3を通して一貫したGWP値を使用すること、また使用するGWP値の出典の一貫性を維持することが望ましい（UNFCCCまたはIPCCのいずれかの出典）（should）。

～中略～　企業はインベントリの計算に使用したGWPの出典を公開する必要がある（required）。

出典：GHG Protocol (2011), Corporate Value Chain (Scope3) Accounting and Reporting Standard, 7.2 Overview of quantification methods and data types, Global warming potential (GWP) values, p.70

参考：Corporate-Value-Chain-Accounting-Reporing-Standard 041613 2.pdf (ghgprotocol.org)

Ｓｃｏｐｅ３算定ツール
シートの説明

本算定ツール内のシート分類

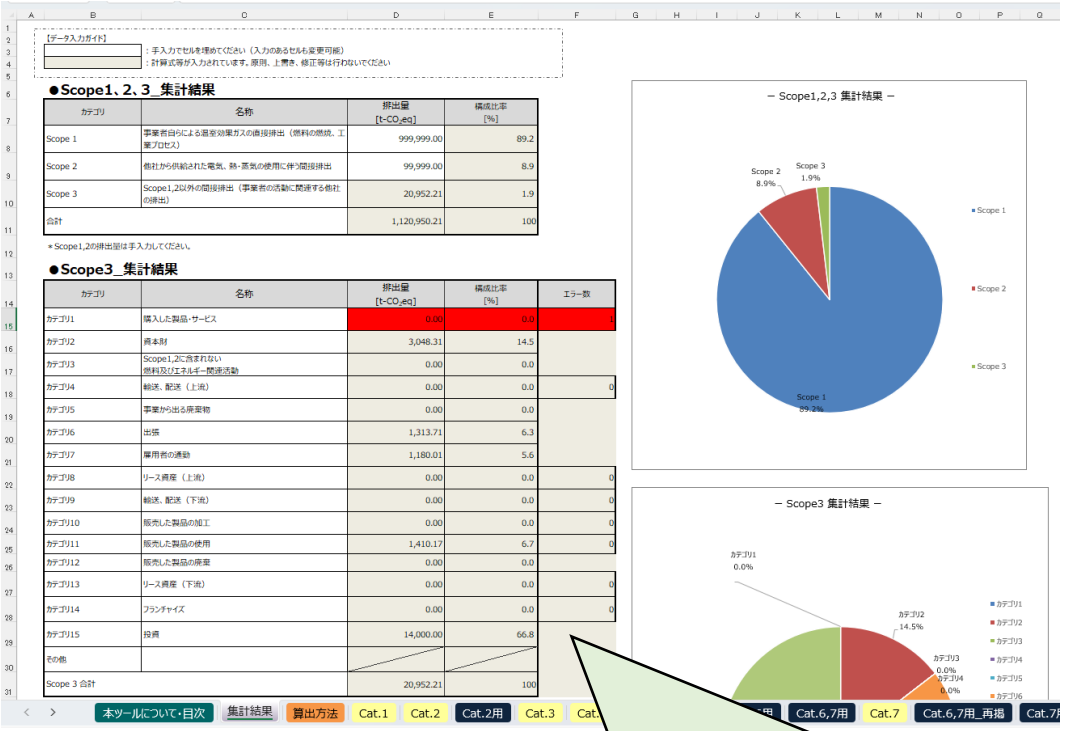
分類	シート名	概要
目次	本ツールについて・目次	本算定ツールについてと目次
レポート	集計結果	各カテゴリの排出量の一覧・円グラフを表示
	算出方法	各カテゴリの算出方法を記入
カテゴリシート	Cat.1 ～ Cat.15	各カテゴリの排出量を計算
バックデータ*1	IDEA Ver.3.5	「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」の【LCIA結果_GWP】シートからGHG排出量の値を貼り付けるためのシート
	換算係数表	IDEAに格納されている製品に対する換算係数一覧
	Cat.2用 Cat.6.7用 Cat.6用 Cat.7用 Cat.11用	対象のシートで使用するIDEA以外の排出原単位

*1バックデータのシートは、誤操作などを避けるため、Excelの「シート保護」機能を使用しシートを保護しています。
シート保護を解除するためのパスワードはありませんので、ユーザー自身でシート保護解除も可能です。

分類：レポートの説明

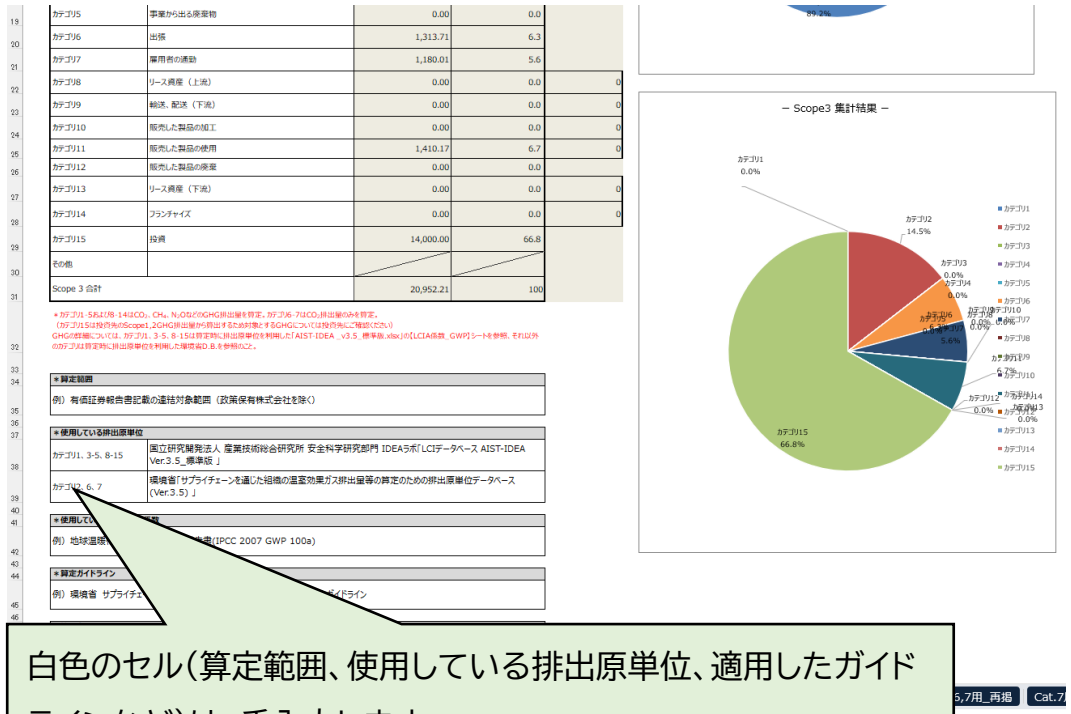
シートの使い方①　【集計結果】シート

Scope1,2の結果
こちらに入力された結果は、円グラフにも反映されます。

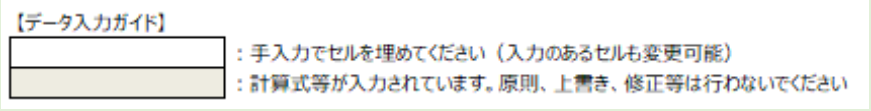


エラー数について
各カテゴリーの集計欄のエラーの数が表示されます。
赤くなっている場合には各シートの表を修正してください。

Scope3の結果
各カテゴリの排出量合計が確認できます。
結果は円グラフにも反映されます。



白色のセル（算定範囲、使用している排出原単位、適用したガイドラインなど）は、手入力します。



シートの使い方② 【算出方法】シート

こちらのシートは任意でご使用ください。
各カテゴリの排出量の算出方法、対象範囲（対象/対象外）など、ユーザーが設定するカテゴリの内容の確認にお使いいただけます。

＊各カテゴリの排出量の算出方法、対象範囲（対象/対象外）など、貴組織のカテゴリの内容の確認にお使いください。

●Scope3 各カテゴリー排出原量の算出方法

Scope	カテゴリ	算出対象	算出方法・計算式	備考
Scope1	Scope1	事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）	エネルギー使用量×エネルギー種類別排出原単位	
Scope2	Scope2	他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出	電力使用量×排出原単位＋購入蒸気量×排出原単位	
Scope3	カテゴリ1	購入した製品・サービス		
	カテゴリ2	資本財		
	カテゴリ3	Scope1,2,に含まれない燃料及びエネルギー活動		
	カテゴリ4	輸送、配送(上流)		
	カテゴリ5	事業から出る廃棄物		
	カテゴリ6	出張		
	カテゴリ7	雇用者の通勤		
	カテゴリ8	リース資産(上流)		
	カテゴリ9	輸送、配送(下流)		
	カテゴリ10	販売した製品の加工		
	カテゴリ11	販売した製品の使用		
	カテゴリ12	販売した製品の廃棄		
	カテゴリ13	リース資産(下流)		
	カテゴリ14	フランチャイズ		
	カテゴリ15	投資		
	その他			

本ツールについて・目次 | 集計結果 | 算出方法 | Cat.1 | Cat.2 | Cat.2用 | Cat.3 | Cat.4 | Cat.5 | Cat.6 | Cat.6用 | Cat.6.7用 | Cat.7 | Cat.6.7用_再掲 | Cat.7用 | Cat.8 | Cat

Step.1
各カテゴリシートに情報を入力する

カテゴリシート入力時のルール

【Cat.1】【Cat.2】【Cat.3】…
【Cat.15】シート

1. 例の削除
(例)として記載されている値は、削除してから入力してください。

2. タイトル行の色
水色は、必須項目です。
オレンジは、任意項目です。

3. 使い方のコメント
セルの赤い三角(◥)にカーソル(矢印)をあててご確認ください。

4. 白いセル
ユーザーが調査した情報を入力。

5. 紫色のセル
行のなかに紫色のセルがあると、排出量合計が計算できません。
入力した数値の単位とIDEA製品の基準単位が揃っていることを確認してください。
入力した値の単位とIDEA製品の基準単位が異なる場合は、単位換算が必要です。

入力時に注意すべきカテゴリ

カテゴリ1　購入した製品・サービス

カテゴリ１．購入した製品・サービス

目次へ戻る

【算定方法】
自社が購入・取得した製品またはサービスの物量・金額データに製品またはサービスごとの
資源採取段階から製造段階までの排出原単位をかけて算定

【計算方法1】 IDEAの排出原単位を使用
GHG排出量 ＝ Σ｛(自社が購入・取得した製品またはサービスの物量・金額データ) × (排出原単位※)｝
※購入・取得した製品またはサービスの資源採取段階まで遡及したもの

【データ入力ガイド】
：手入力でセルを埋めてください（一部、プルダウンより選択）
：計算式等が入力されています。原則、上書き、修正等は行わないでください
：該当する数値の入力が必要です
：入力不要

【換算係数検索】
換算係数表

【タイトル行の

↓独自排出

購入した製品・サービス名	物量・金額		単位換算（換算係数）				IDEA排出原単位[kg-CO_2eq/基準単位]					IDEA排出量		独自排出原
購入した製品・サービス名	物量・金額	単位1	換算係数	単位2	換算後活動量	単位3	IDEA製品コード	IDEA製品名	排出原単位	基準単位	出典1	IDEA 排出量	単位4	原単
(例)鉄鉱石	1,000	t			1,000,000	kg	051115000pUSA	鉄鉱石, USA			AIST-IDEA Ver.3.5			
(例)銅精鉱	1,000	t			1,000,000	kg	051116000pCHN	銅精鉱, CHN			AIST-IDEA Ver.3.5			
(例)ラベル	5,000,000	円	20.55	円/m2			149911000pJPN	セロファン, JPN			AIST-IDEA Ver.3.5			
(例)玄米	500	kg					011100000mGLO	玄米, 4桁, GLO			AIST-IDEA Ver.3.5			

1.「IDEA製品コード」を入力

AIST-IDEA Web systemより検索頂くと便利です。

2.独自排出原単位の入力

IDEA排出原単位ではなく、独自の排出原単位を使用する場合は、オレンジの列を使用してください。
独自排出原単位の単位が[t-CO_2eq]の場合は、[kg-CO_2eq]に換算してください。

↓独自排出原単位を使用する場合はこちらへ入力してく

	IDEA排出量		独自排出原単位[kg-CO_2eq/基準単位]							量合計	
	IDEA 排出量	単位4	原単位種別	独自排出原単位名	独自排出原単位	独自基準単	出典2	独自排出量	単位5	排出量	単位6
3.5											
3.5											
3.5											
3.5											

単位が不一致の場合に
「単位換算を行う」と表示されます。

カテゴリ2　資本財

カテゴリ２．資本財

目次へ戻る

【算定方法】
資本形成部門ごとに購入した資本財の販売単位、あるいは支出額を把握し、排出量を推計

【計算式】

GHG排出量 ＝ Σ｛ (資本財の販売単位) × (排出原単位) ｝

カテゴリ2 排出量
3,048.31 t-CO_2eq

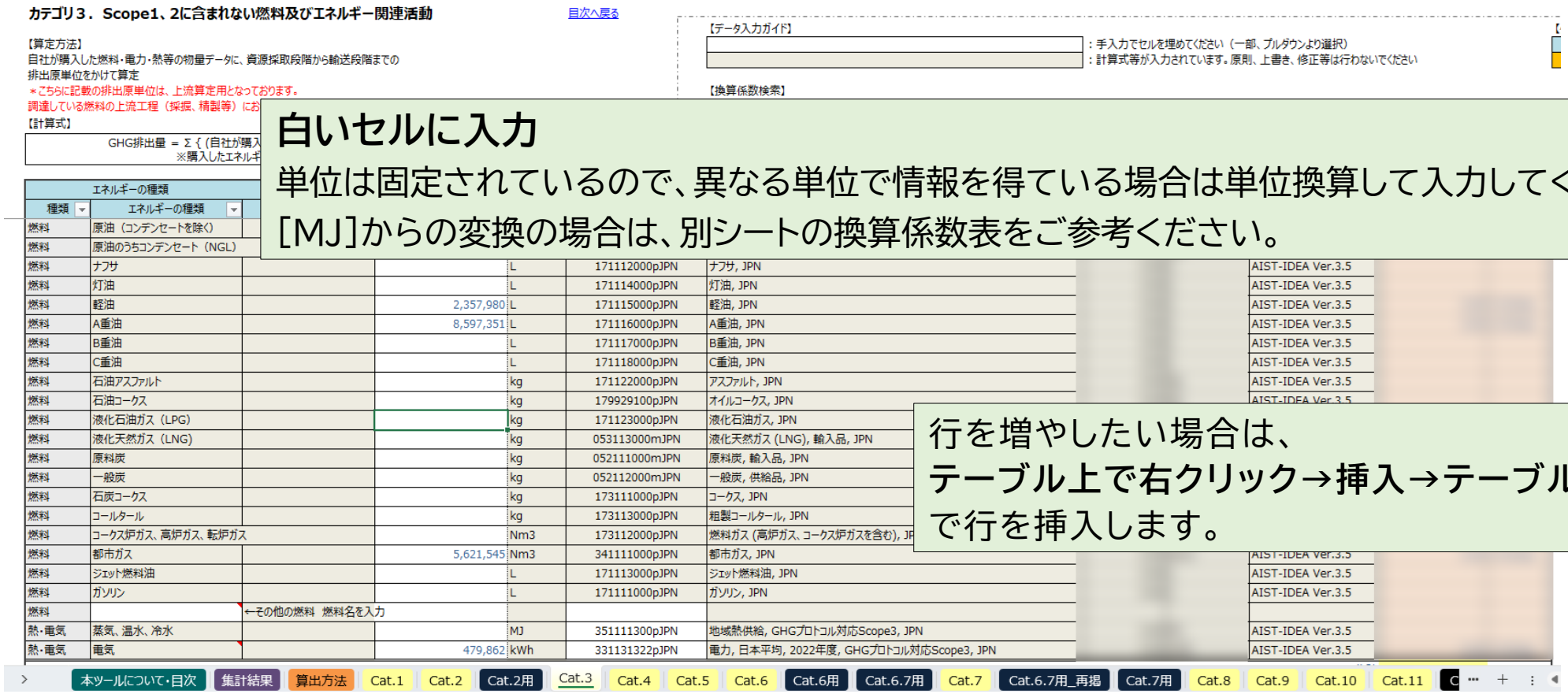
会計年度内全購入資産	新規に取得した固定資産額		排出原単位					排出量	
名称	資産額	単位1	コードNo.	資本形成部門	排出原単位	単位2	出典	排出量	単位3
(例) 資本形成部門1	1,500	百万円	23-0000	金融・保険	1.84	tCO2eq/百万円	環境省 D.B. Ver.3.5	2,767.04	t-CO2eq
(例) 資本形成部門2	100	百万円	15-0550	半導体素子・集積回路	2.81	tCO2eq/百万円	環境省 D.B. Ver.3.5	281.26	t-CO2eq
							集計	3,048.31	

コードNo.の入力

「コードNo.」は、下の〇資本形成部門 コード一覧表から選んでください。

排出原単位はシート「Cat.2用（資本財価格当たり排出原単位）」を参照しています。

カテゴリ3　Scope1、2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動



カテゴリ３．Scope1、2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動　目次へ戻る

【算定方法】
自社が購入した燃料・電力・熱等の物量データに、資源採取段階から輸送段階までの
排出原単位をかけて算定
＊こちらに記載の排出原単位は、上流算定用となっております。
調達している燃料の上流工程（採掘、精製等）にお

【計算式】
GHG排出量 ＝ Σ｛（自社が購入
※購入したエネルギ

【データ入力ガイド】
：手入力でセルを埋めてください（一部、プルダウンより選択）
：計算式等が入力されています。原則、上書き、修正等は行わないでください

【換算係数検索】

エネルギーの種類								
種類	エネルギーの種類							
燃料	原油（コンデンセートを除く）							
燃料	原油のうちコンデンセート（NGL）							
燃料	ナフサ			L	171112000pJPN	ナフサ, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5
燃料	灯油			L	171114000pJPN	灯油, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5
燃料	軽油		2,357,980	L	171115000pJPN	軽油, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5
燃料	A重油		8,597,351	L	171116000pJPN	A重油, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5
燃料	B重油			L	171117000pJPN	B重油, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5
燃料	C重油			L	171118000pJPN	C重油, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5
燃料	石油アスファルト			kg	171122000pJPN	アスファルト, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5
燃料	石油コークス			kg	179929100pJPN	オイルコークス, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5
燃料	液化石油ガス（LPG）			kg	171123000pJPN	液化石油ガス, JPN		
燃料	液化天然ガス（LNG）			kg	053113000mJPN	液化天然ガス (LNG), 輸入品, JPN		
燃料	原料炭			kg	052111000mJPN	原料炭, 輸入品, JPN		
燃料	一般炭			kg	052112000mJPN	一般炭, 供給品, JPN		
燃料	石炭コークス			kg	173111000pJPN	コークス, JPN		
燃料	コールタール			kg	173113000pJPN	粗製コールタール, JPN		
燃料	コークス炉ガス、高炉ガス、転炉ガス			Nm3	173112000pJPN	燃料ガス (高炉ガス、コークス炉ガスを含む), JP		
燃料	都市ガス		5,621,545	Nm3	341111000pJPN	都市ガス, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5
燃料	ジェット燃料油			L	171113000pJPN	ジェット燃料油, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5
燃料	ガソリン			L	171111000pJPN	ガソリン, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5
燃料		←その他の燃料　燃料名を入力						
熱・電気	蒸気、温水、冷水			MJ	351111300pJPN	地域熱供給, GHGプロトコル対応Scope3, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5
熱・電気	電気		479,862	kWh	331131322pJPN	電力, 日本平均, 2022年度, GHGプロトコル対応Scope3, JPN		AIST-IDEA Ver.3.5

本ツールについて・目次　集計結果　算出方法　Cat.1　Cat.2　Cat.2用　Cat.3　Cat.4　Cat.5　Cat.6　Cat.6用　Cat.6.7用　Cat.7　Cat.6.7用_再掲　Cat.7用　Cat.8　Cat.9　Cat.10　Cat.11

白いセルに入力

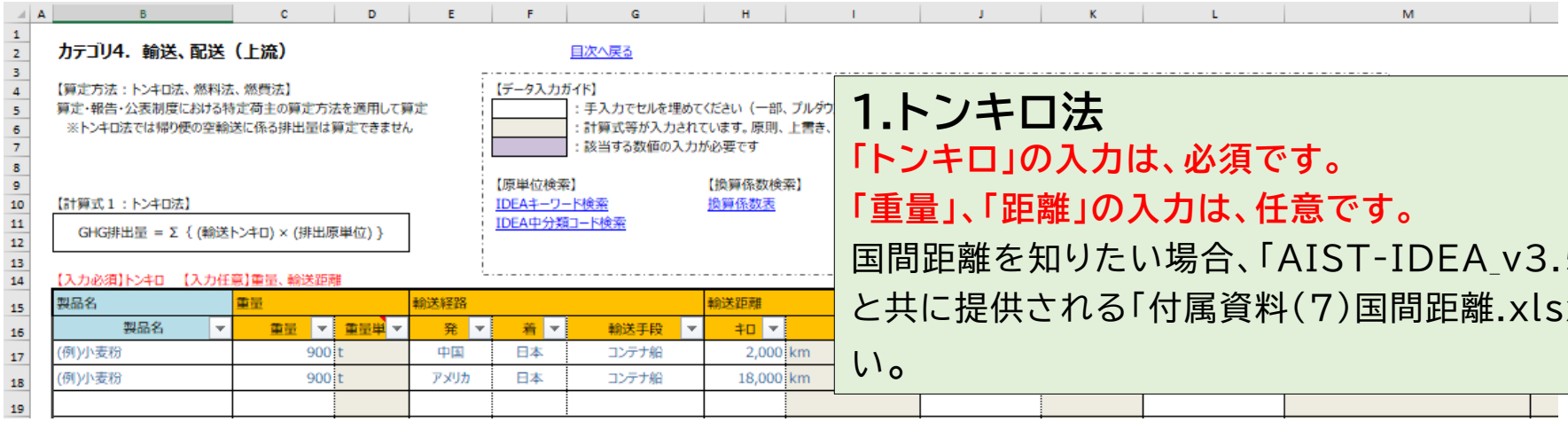
単位は固定されているので、異なる単位で情報を得ている場合は単位換算して入力してください。
[MJ]からの変換の場合は、別シートの換算係数表をご参考ください。

行を増やしたい場合は、
テーブル上で右クリック→挿入→テーブルの行
で行を挿入します。

- ✓ こちらで使用する排出原単位は、 調達している燃料、電力、熱等の上流工程(採掘、精製等)におけるGHG排出を指しており、**それらの使用や燃焼による排出は含まれておりません。**
- ✓ エネルギーの種類「熱・電気」のIDEA製品コードは、Scope2の算出に用いた種別(「環境省 基本ガイドライン」または「GHGプロトコル」のどちらか)に揃える必要があります。
  詳細は、**「IDEA Ver.3.5 マニュアル第2部33.3.7サプライチェーン排出量算定のためのプロセスデータ」**をご参照ください。
- ✓ 熱・電気は、海外で製造される熱・電気には対応していません。

カテゴリ4　輸送、配送（上流）および
カテゴリ9　輸送、配送（下流）

計算方法は、以下の3種類あります。



カテゴリ4. 輸送、配送（上流）

目次へ戻る

【算定方法：トンキロ法、燃料法、燃費法】
算定・報告・公表制度における特定荷主の算定方法を適用して算定
※トンキロ法では帰り便の空輸送に係る排出量は算定できません

【データ入力ガイド】
：手入力でセルを埋めてください（一部、プルダウ
：計算式等が入力されています。原則、上書き、
：該当する数値の入力が必要です

【原単位検索】
IDEAキーワード検索
IDEA中分類コード検索

【換算係数検索】
換算係数表

【計算式１：トンキロ法】

GHG排出量 ＝ Σ｛(輸送トンキロ) × (排出原単位)｝

【入力必須】トンキロ　【入力任意】重量、輸送距離

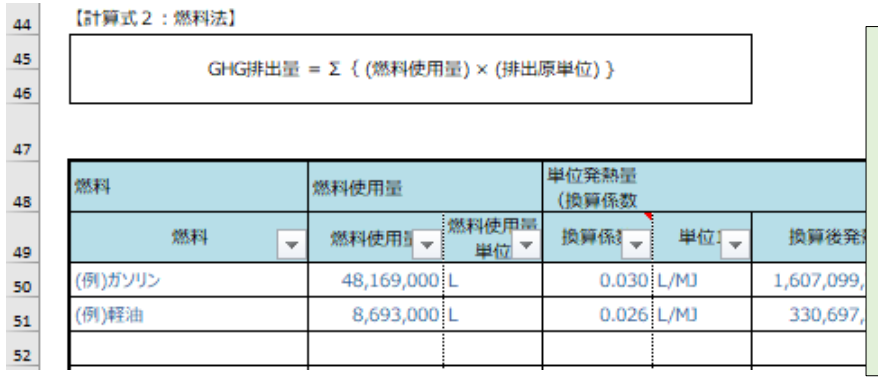
製品名	重量		輸送経路			輸送距離	
製品名	重量	重量単	発	着	輸送手段	キロ	
(例)小麦粉	900	t	中国	日本	コンテナ船	2,000	km
(例)小麦粉	900	t	アメリカ	日本	コンテナ船	18,000	km

1.トンキロ法

「トンキロ」の入力は、必須です。

「重量」、「距離」の入力は、任意です。

国間距離を知りたい場合、「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」と共に提供される「付属資料（7）国間距離.xlsx」もご利用ください。



【計算式２：燃料法】

GHG排出量 ＝ Σ｛(燃料使用量) × (排出原単位)｝

燃料	燃料使用量		単位発熱量（換算係数		
燃料	燃料使用量	燃料使用量単位	換算係数	単位1	換算後発
(例)ガソリン	48,169,000	L	0.030	L/MJ	1,607,099,
(例)軽油	8,693,000	L	0.026	L/MJ	330,697,

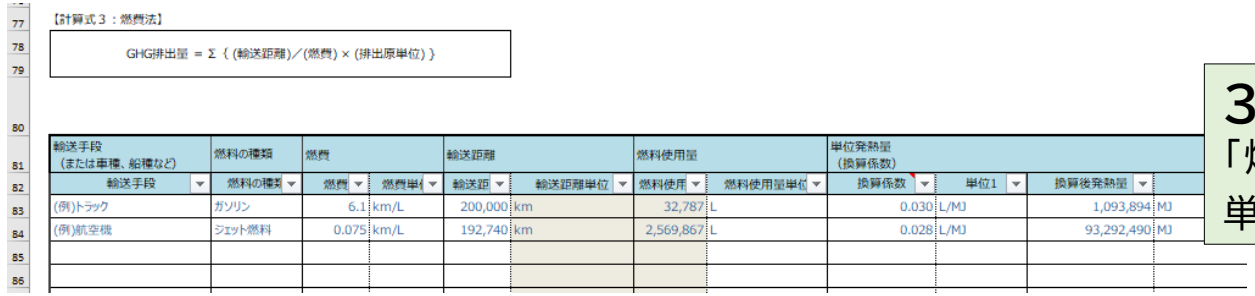
2.燃料法

「燃料使用量」を入力後、単位換算を行い単位[MJ]に変換してください。

IDEA製品コードには、IDEA製品名「〇〇（燃料の種類）の燃焼エネルギー」であるものを入力してください。

例）　IDEA製品名「ガソリン[171111000pJPN]」ではなく、

IDEA製品名「ガソリンの燃焼エネルギー[171111801pJPN]」



【計算式３：燃費法】

GHG排出量 ＝ Σ｛(輸送距離)／(燃費) × (排出原単位)｝

輸送手段（または車種、船種など）	燃料の種類	燃費		輸送距離		燃料使用量		単位発熱量（換算係数）		
輸送手段	燃料の種類	燃費	燃費単	輸送距	輸送距離単位	燃料使用	燃料使用量単位	換算係数	単位1	換算後発熱量
(例)トラック	ガソリン	6.1	km/L	200,000	km	32,787	L	0.030	L/MJ	1,093,894
(例)航空機	ジェット燃料	0.075	km/L	192,740	km	2,569,867	L	0.028	L/MJ	93,292,490

3.燃費法

「燃費」を入力後、単位換算を行い、単位[MJ]に変換してください。

カテゴリ5　事業から出る廃棄物

1.「廃棄物処理量」、「処理方法」を入力

カテゴリ5．事業から出る廃棄物　　目次へ戻る

【算定方法】
廃棄物処理・リサイクル業者への委託費用や委託量に、排出原単位を乗じることによって排出量を推計
※廃棄物の輸送に係る排出量は任意でカテゴリ5の算定に含めることができます。

【計算式】
＜処理・リサイクルの実態を把握している場合＞
GHG排出量 ＝ Σ｛(廃棄物種類・処理方法別の廃棄物処理・リサイクル量) × (廃棄物種類・処理方法別の排出原単位※)｝
※排出原単位は、廃棄物の種類別・処理方法別に設定します

【データ入力ガイド】
：手入力でセルを埋めてください（一部、プルダウンより選択）
：計算式等が入力されています。原則、上書き、修正等は行わないでください

【タイトル行の色分け】
入力必須
入力任意

1）廃棄物処理・リサイクル量を入力
【入力必須】廃棄物処理量　【入力任意】廃棄物の輸送に関わるオレンジの列
輸送排出量に入力のない場合は、廃棄物処理に係る排出量のみが排出量合計となります↓
↓選別や加工などの廃棄物処理が必要な製品に対して、IDEA製品からリマインダーフロー出力を使用することはできません

廃棄物	廃棄物処理・リサイクル量		処理方法	輸送経路			輸送距離		トンキロ		輸送 IDEA排出原単位[kg-CO2eq/基準単位]					輸送排出量		廃棄物処理 IDEA排出原単位[kg-CO2eq/基準単位]				
廃棄物	量(t)	単位1	処理方法	発	着	輸送手	距離	距離単位	トンキロ	単位2	輸送IDEA製品コード	輸送IDEA製品名	輸送排出原単	輸送排出	輸送出典	輸送排出	輸送排出量	IDEA製品コード	IDEA製品名	排出原単位	基準単	
(例)下水汚泥	4,480	t	不明															882202000mJPN	産廃処理, 下水汚泥, JPN			ST-ID
(例)燃えがら	10	t	埋立	東京	千葉	トラック	30	km	300	tkm	441111234pJPN	トラック輸送, 10トン車, 積載率_平均, JPN			AIST-IDEA Ver.3.5			882201211pJPN	埋立処理, 産業廃棄物, 燃え殻, JPN			ST-ID

2.廃棄物の輸送距離、トンキロの入力

廃棄物の輸送に係る排出量を排出量合計に含めるかはどうかは、任意です。
廃棄物の輸送を含める場合には、オレンジの列に入力してください。
廃棄物の輸送を含めない（未入力の）場合には、廃棄物処理に係る排出量のみが排出量合計となります。

カテゴリ11　販売した製品の使用

計算式は以下の3つです。

カテゴリ１１．販売した製品の使用　　目次へ戻る

【算定方法】
販売数量等と標準的な使用シナリオ（商品の設計仕様および消費者における製品の使用条件に関する仮定）等に基づく使用時のエネルギー
※間接使用段階の算定は任意。

【計算式１】

GHG排出量 ＝ Σ ｛(製品の想定生涯使用年数) × (報告期間における販売数) × (年間エネルギー消費量) × (排出原単位)｝

1．製品の使用

【入力必須】使用に伴うエネルギー消費量　【入力任意】年間エネルギー使用量、製品使用年数、販売した製品数量

製品名		製品1個当たりの年間エネルギー使用量		製品使用年数［年］	報告対象年に販売した製品数量	使用に伴うエネルギー消費量（製品１個当たりの年間エネルギー使用量×製品使用年数×報告対象年の販売数量）	単位発熱量（換算係数）	IDEA排出原単位[kg-CO_2eq/基準単位]
製品名	使用するエネルギーの種類	年間エネルギー使用量	エネルギー単位	製品使用年数	販売した製品数量			
(例)冷蔵庫	電力							
(例)袋麺	都市ガス							

【計算式２】

GHG排出量 ＝ Σ ｛(燃料・フィードストックの販売量の合計) × (排出原単位)｝

2．燃料・フィードストック

↓燃料の
IDEA製

燃料・フィードストック			単位発熱量（換算係数）				独自排出
燃料・フィードストック	燃料・フィードスト	単位1	換算係数	単位2	換算後発熱	単位3	独自排
(例)ガソリン	30,000	L	0.03	L/MJ	1,000,913	MJ	
(例)軽油	15,000	L	0.03	L/MJ	570,627	MJ	

【計算式３】

GHG排出量 ＝ Σ ｛(製品あたりのGHG 含有量) × (製品の総販売数) × (生涯使用期間のGHG排出率) × (地球温暖化係数)｝

3．GHG含有製品で、使用時にGHGを排出するもの

製品名	製品のGHG含有量			製品販売数		生涯使用期間GHG排出率[%]	地球温暖化係数	
製品名	GHG含有量種類	GHG含有量 (kg)	GHG含有量単位	販売数	販売数単位	GHG排出率[%]	GWP	
(例)噴射剤	排出, HCFC-142b, ガ	0.00008	kg	50,000	本	20	AR5(IPCC 第5次報告書)	
(例)噴射剤	排出, パーフルオロエタン	0.846	kg	1,000	本	15	AR5(IPCC 第5次報告書)	

1.製品の使用

製品の使用に伴ってエネルギーの消費が必要な場合、**「使用に伴うエネルギー消費量」の入力は、必須です。**

「年間エネルギー使用量」、「製品使用年数」、「販売した製品数量」の入力は、任意です。

2.燃料・フィードストック

販売する製品が石油製品、天然ガス、石炭、バイオ燃料や原油などの場合はこちらへ入力します。
燃料の使用時に係る排出が対象であり、燃料の製造にかかる上流排出は対象外です。
IDEAでは、燃料の使用時のみの排出原単位を用意しておりませんので独自排出原単位を入力してください。
IDEA製品名「〇〇（燃料の種類）の燃焼エネルギー」（例えば、「ガソリンの燃焼エネルギー, JPN ［171111801pJPN］」）
を使用すると、Scope1、Scope2またはScope3のCat.1とダブルカウントが発生しますのでご注意ください。

3.GHG含有製品で使用時にGHGを排出するもの

「GHG含有量種類」、「含有量」、「販売数」、「排出率」を入力します。
「GWP」は、「AR4」、「AR5」、「AR6」のどちらかを選択します。

Step.2
結果を確認する

結果は、【集計結果】シートを参照してください

【データ入力ガイド】

：手入力でセルを埋めてください（入力のあるセルも変更可能）

：計算式等が入力されています。原則、上書き、修正等は行わないでください

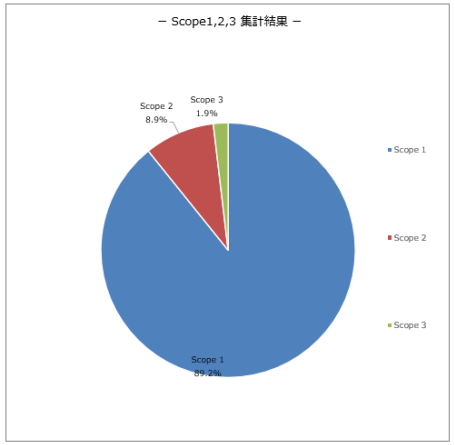
●Scope1、2、3_集計結果

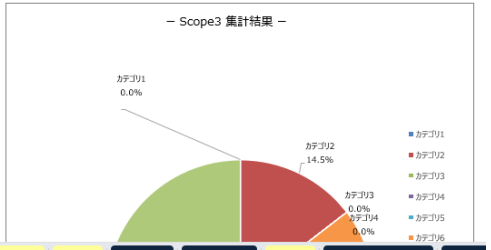
カテゴリ	名称	排出量 [t-CO_2eq]	構成比率 [%]
Scope 1	事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）	999,999.00	89.2
Scope 2	他社から供給された電気、熱・蒸気の使用に伴う間接排出	99,999.00	8.9
Scope 3	Scope1,2以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）	20,952.21	1.9
合計		1,120,950.21	100

＊Scope1,2の排出量は手入力してください。

●Scope3_集計結果

カテゴリ	名称	排出量 [t-CO_2eq]	構成比率 [%]	エラー数
カテゴリ1	購入した製品・サービス	0.00	0.0	0
カテゴリ2	資本財	3,048.31	14.5	
カテゴリ3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	0.00	0.0	
カテゴリ4	輸送、配送（上流）	0.00	0.0	0
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	0.00	0.0	
カテゴリ6	出張	1,313.71	6.3	
カテゴリ7	雇用者の通勤	1,180.01	5.6	
カテゴリ8	リース資産（上流）	0.00	0.0	0
カテゴリ9	輸送、配送（下流）	0.00	0.0	0
カテゴリ10	販売した製品の加工	0.00	0.0	0
カテゴリ11	販売した製品の使用	1,410.17	6.7	0
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	0.00	0.0	
カテゴリ13	リース資産（下流）	0.00	0.0	0
カテゴリ14	フランチャイズ	0.00	0.0	0
カテゴリ15	投資	14,000.00	66.8	
その他				
Scope 3 合計		20,952.21	100	





本ツールについて・目次 | 集計結果 | 算出方法 | Cat.1 | Cat.2 | Cat.2用 | Cat.3 | Cat.4 | Cat.5 | Cat.6 | Cat.6用 | Cat.6,7用 | Cat.7 | Cat.6,7用_再掲 | Cat.7

各シートで入力した排出量合計がこちらの表に反映されています。
円グラフで確認できます。

Scope3の結果

各カテゴリの排出量合計を確認します。

●Scope3_集計結果

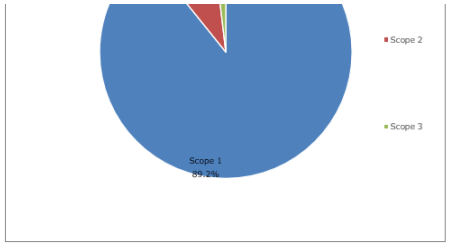
カテゴリ	名称	排出量 [t-CO_2eq]	構成比率 [%]	エラー数
カテゴリ1	購入した製品・サービス	0.00	0.0	0
カテゴリ2	資本財	3,048.31	14.5	
カテゴリ3	Scope1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	0.00	0.0	
カテゴリ4	輸送、配送（上流）	0.00	0.0	0
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	0.00	0.0	
カテゴリ6	出張	1,313.71	6.3	
カテゴリ7	雇用者の通勤	1,180.01	5.6	
カテゴリ8	リース資産（上流）	0.00	0.0	0
カテゴリ9	輸送、配送（下流）	0.00	0.0	0
カテゴリ10	販売した製品の加工	0.00	0.0	0
カテゴリ11	販売した製品の使用	1,410.17	6.7	0
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	0.00	0.0	
カテゴリ13	リース資産（下流）	0.00	0.0	0
カテゴリ14	フランチャイズ	0.00	0.0	0
カテゴリ15	投資	14,000.00	66.8	
その他				
Scope 3 合計		20,952.21	100	

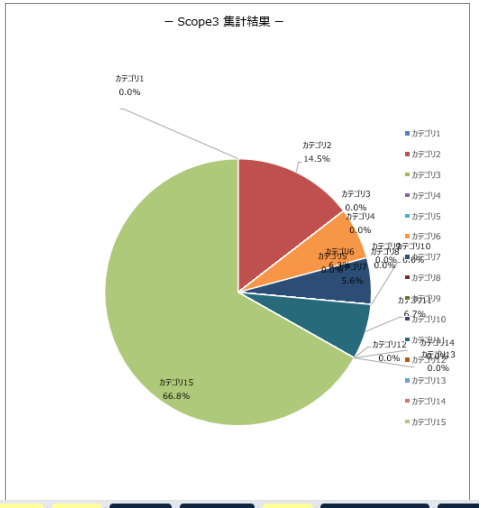
＊カテゴリ1-5および8-14はCO_2、CH_4、N_2OなどのGHG排出量を算定。カテゴリ6-7はCO_2排出量のみを算定。
（カテゴリ15は投資先のScope1,2GHG排出量から算出するため対象とするGHGについては投資先にご確認ください）
GHGの詳細については、カテゴリ1、3-5、8-15は算定時に排出原単位を利用した「AIST-IDEA _v3.5_標準版.xlsx」の「LCIA係数_GWP」シートを参照、それ以外のカテゴリは算定時に排出原単位を利用した環境省D.B.を参照のこと。

＊算定範囲
例）有価証券報告書記載の連結対象範囲（政策保有株式会社を除く）

＊使用している排出原単位	
カテゴリ1、3-5、8-15	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 IDEAラボ「LCIデータベース AIST-IDEA Ver.3.5_標準版 」
カテゴリ2、6、7	環境省「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出量等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.5）」

＊使用している地球温暖化係数





本ツールについて・目次 | 集計結果 | 算出方法 | Cat.1 | Cat.2 | Cat.2用 | Cat.3 | Cat.4 | Cat.5 | Cat.6 | Cat.6用 | Cat.6,7用 | Cat.7 | Cat.6,7用_再掲 | Cat.7

分類：バックデータの説明

【Cat.11用】シート

本算定ツールで使用している地球温暖化係数の一覧
「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」の【LCIA係数_GWP】シートと同じ内容です。

○ 地球温暖化係数

*こちらの表は、AIST-IDEA Excel版のシート【LCIA係数_GWP】を参照しています。
空欄のセルは、【LCIA係数_GWP】で係数を設定していません。

			評価領域	気候変動 IPCC 2021 GWP 100a without LULUCF	気候変動 IPCC 2013 GWP 100a without LULUCF	気候変動 IPCC 2007 GWP 100a without LULUCF
IDEA基本フローコード	IDEA基本フロー名	分類1	単位	AR6(kg-CO_2eq)	AR5(kg-CO_2eq)	AR4(kg-CO_2eq)
002102	排出, 四塩化炭素, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002104501	排出, CH4 (発生源不特定), 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002104502	排出, CH4 (生物由来), 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002104503	排出, CH4 (化石資源由来), 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002104504	排出, CH4 (消化管内発酵, 家畜排せつ物の管理由来), 大気	排出/大気	kg			
002104505	排出, CH4 (農地_水田由来), 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002107501	排出, CO2 (発生源不特定), 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002107503	排出, CO2 (化石資源由来), 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002107505	排出, CO2 (農地_石灰施用), 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002107506	排出, CO2 (農地_尿素施用), 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002109	排出, HCFC-141b, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002111	排出, HFC-134a, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002114	排出, N2O, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002114504	排出, N2O (家畜排せつ物の管理由来), 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002114505	排出, N2O (農地_窒素施肥由来と残さのすきこみ由来), 大	排出/大気	kg			
002114507	排出, N2O (農地_無機化された窒素由来), 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002114512	排出, N2O (農地_バイオマス燃焼由来), 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002124	排出, SF6, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002131	排出, パーフルオロエタン, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002132	排出, パーフルオロメタン, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002199058	排出, ブロモメタン, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002199075	排出, CFC-11, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002199078	排出, CFC-113, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002199081	排出, CFC-12, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002199091	排出, ハロン1301, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002199096	排出, HCFC-123, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002199097	排出, HCFC-124, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002199099	排出, 1,1,1-トリクロロエタン, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002199100	排出, HCFC-142b, 大気, 不特定	排出/大気	kg			
002199102	排出, HCFC-22, 大気, 不特定	排出/大気	kg			

Cat.6 | Cat.6用 | Cat.6.7用 | Cat.7 | Cat.6.7用_再掲 | Cat.7用 | Cat.8 | Cat.9 | Cat.10 | Cat.11 | Cat.11用 | Cat.12 | Cat.13 | Cat.14 | Cat.15 | 目次・バックデータ→ | IDEA

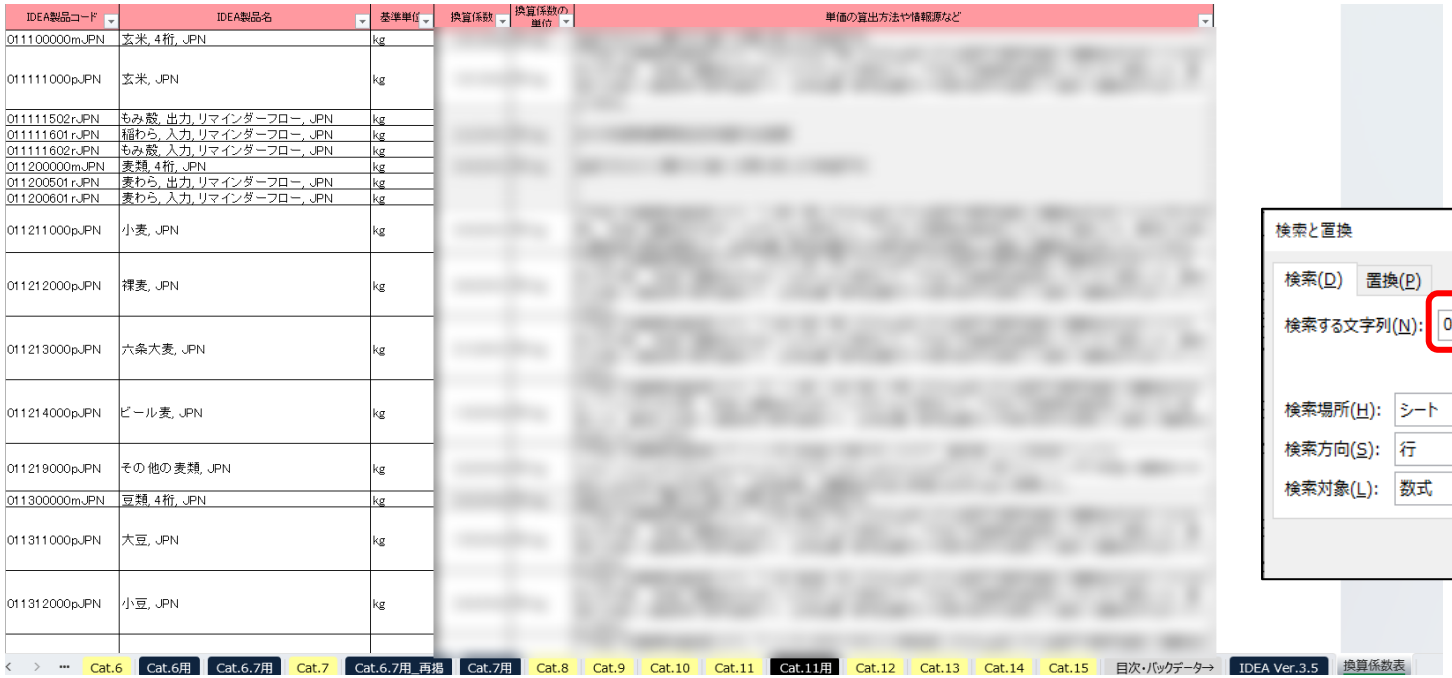
「AIST-IDEA_v3.5.1_標準版.xlsx」の【LCIA係数_GWP】シートに記載されている基本フロー（温室効果ガス）のうち、LCIA係数が設定されている基本フローのみを記載しています。

地球温暖化係数：IPCC第4次報告書の100年GWP値
IPCC第5次報告書の100年GWP値
IPCC第6次報告書の100年GWP値

- 誤操作などを避けるため、Excelの「シート保護」機能を使用しシートを保護しています。
  シート保護を解除するためのパスワードはありませんので、ユーザー自身でシート保護解除も可能です。

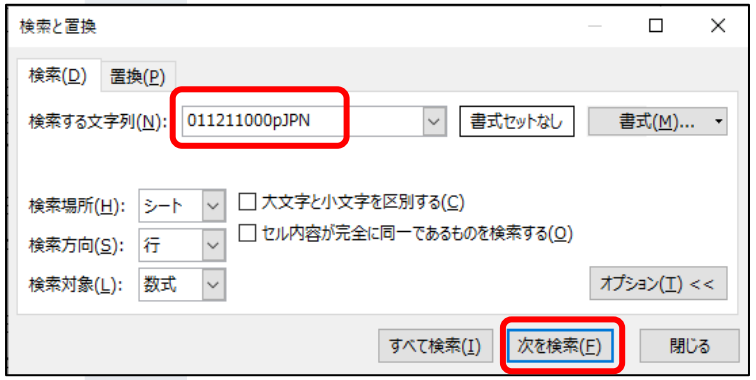
【換算係数表】シート

IDEAに格納されている換算係数の一覧
「付属資料（9）換算係数表」と同じ内容です。



IDEA製品コード	IDEA製品名	基準単位	換算係数	換算係数の単位	単価の算出方法や情報源など
011100000mJPN	玄米, 4桁, JPN	kg			
011111000pJPN	玄米, JPN	kg			
011111502rJPN	もみ殻, 出力, リマインダーフロー, JPN	kg			
011111601rJPN	稲わら, 入力, リマインダーフロー, JPN	kg			
011111602rJPN	もみ殻, 入力, リマインダーフロー, JPN	kg			
011200000mJPN	麦類, 4桁, JPN	kg			
011200501rJPN	麦わら, 出力, リマインダーフロー, JPN	kg			
011200601rJPN	麦わら, 入力, リマインダーフロー, JPN	kg			
011211000pJPN	小麦, JPN	kg			
011212000pJPN	裸麦, JPN	kg			
011213000pJPN	六条大麦, JPN	kg			
011214000pJPN	ビール麦, JPN	kg			
011219000pJPN	その他の麦類, JPN	kg			
011300000mJPN	豆類, 4桁, JPN	kg			
011311000pJPN	大豆, JPN	kg			
011312000pJPN	小豆, JPN	kg			

Cat.6 | Cat.6用 | Cat.6.7用 | Cat.7 | Cat.6.7用_再掲 | Cat.7用 | Cat.8 | Cat.9 | Cat.10 | Cat.11 | Cat.11用 | Cat.12 | Cat.13 | Cat.14 | Cat.15 | 目次・バックデータ→ | IDEA Ver.3.5 | 換算係数表



単位換算が必要な場合、こちらの換算係数を使用できます。
シート上でIDEA製品コードやIDEA製品名で検索すると、該当する換算係数を確認できます。産総研がIDEAを構築する上で必要であった換算係数と、ユーザーの需要が高いと考えられる換算係数を掲載しています。すべての単位を網羅しているものではありませんのでご了承ください。

- 誤操作などを避けるため、Excelの「シート保護」機能を使用しシートを保護しています。
  シート保護を解除するためのパスワードはありませんので、ユーザー自身でシート保護解除も可能です。